

○自己点検・自己評価について(総括)

北海道医薬専門学校

■当校における自己点検・評価の取り組みについて

平成 19 年の学校教育法及同法施行規則の改正の主旨に則り、平成 29 年度の本校の自己点検・自己評価の結果をここに公表いたしますので、本校における教育サービスの現状を正しくご理解いただき、本校教育の質の向上に資するためのご助言がいただけましたら、幸甚に存じます。

■平成 29 年度 自己点検・自己評価より

評価基準(4 十分達している、3 概ね達している 2 改善の余地あり 1 検討が必要)

1 教育理念・目的・育成人材関係

(1) 学校の教育理念・目的・人材育成像は明確になっているか…(3.65)

学園の創立の精神である「熱意」「決意」「創意」に基づく学校沿革と本校の教育理念や人材育成方針等は、年度始めに教職員で確認し、入学式や各学科のオリエンテーションで学生はもとより保護者への説明をも丁寧に実施しています。また入学を希望する学生や保護者にはホームページ等においても公開しています。

(2) 各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向付けられているか(3.50)

学園の教育理念や教育目標を踏まえながら、各学科においては学科経営目標等を定めており、学科で育成する学生像や課題を明確にして、自己評価をしています。また「教育課程編成会議」での各業界の助言や情報を教育内容に反映させ、各業界が求めるプロの人材養成を目標に掲げて教育活動を展開しています。

2. 学校運営関係

(1) 運営組織や意思決定機能は組織的で明確になっているか(3.30)

学校の運営組織については、年度始めに学校全体の「分掌図」や各学科における「業務分担」を具体的に決定し明確にしています。学科内でも学校組織を踏まえた係分担を決めて教育活動を展開しています。また事務部や広報部においても担当業務や事業目標を定め、教育活動への支援をしています。

(2) 教育活動に関する情報公開がなされているか。(3.45)

教育活動に関する情報公開は基本的にはホームページで公開しています。また、SNS 上でも受験生に分かりやすく学科の案内や情報をリアルタイムで発信しています。さらに全道の高等学校に配布する学校案内書ではより詳しくカリキュラムの特色や年間の学生生活等も丁寧に説明しています

3. 教育活動関係

(1) 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか (3.50)

本校の教育方針の一つに「医療・薬業業界の就職に直結したカリキュラムで指導します」があり、各学科毎に国家試験はもとより業界や社会のニーズを踏まえた教育活動の実践内容を含んだ教科・科目を配置しています。各学科とも実習やインターンシップを十二分に活用して職業教育がなされています。

(2) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。(3.40)

成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は学則を踏まえて、各学科の特性を考慮しながら学科の細則を定めて基準を明確にしています。今後の課題としては実習によっては評価の観点をより客観性を持たせ、明確にして単位認定に結び付けるよう努めなければならない。

(3) 資格習得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか (3.50)

資格習得や検定合格は学校教育方針の最大の目標でもあり、国家試験合格を目指す2学科（看護、診療放射線）はもちろんのこと医療事務学科、薬業学科でも習得できる検定名を募集要項等に明記し、習得のために適切な教科、科目の配置をしています。さらに補講等の指導計画も明確にして資格習得率の向上に努めています。

(4) 職業教育に対する教職員の意識向上が図られているか (3.50)

年度のはじめに全教職員全体で学校目標等を確認し、専門学校の基本である職業教育の教職員の意識や教育理念について共有している。また、意識の改革とスキルの向上を図るため、教員の資質向上を目指した、関係団体主催の研修会にも積極的に参加しています。

4. 学修成果関係

(1) 就職率の向上が図られているか (3.53)

本校は無料職業紹介事業所としての認可を受け、本校独自の求人開拓により収集された求人情報等は就職課を通じて学生に公開すると共に、求人動向及び内定情報、企業の求人充足状況などを定例の会議で討議している。また、学科においては、より組織的な指導体制を整えて希望者全員の就職決定を達成している。

(2) 資格習得率向上の指導計画が適切になされているか (3.53)

学科における教育課程を決定する際に最も重点目標としているのは就職に必要な国家資格や各種資格検定の修得であり、合格率の向上のための年度計画や補講体制を決定し学科毎に放課後や長期休業期間を利用して指導しています。また、学生へは「学生顕彰」制度を設けて難関な資格や検定や資格の習得率向上を促しています。

5. 学生支援関係

(1) 進路・就職に関する支援体制は整備しているか(3.50)

薬業・医療事務学科においては1年次から就職ガイダンス、就職希望調査、就職面談の実施、就活セミナーや企業研修の指導等を行っています。また、全学科の進路・就職に対するの基本理念としては、求人企業と学生の希望を重視し、本人が望む最適な就職先が選定できるよう、相談指導等を定期的に実施しています。

(2) 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか(3.45)

入学に際しての本校独自の各種奨学金や学費等支援制度(返済無し型)を年々充実するために入学する学生の実情に合わせるよう見直しを図っています。また、国や地方自治体の支援制度の種類等も増加しており積極的な活用を促すと共に、返済を見据えた利用の方法も指導しています。次年度は新たに授業料分割制度を施行する計画です

6. 教育環境関係

(1) 学校内外の実習施設、インターンシップ、海外研修旅行等について十分な教育体制を整備しているか(3.40)

学生へのより実践的学習環境の整備のためには実習施設の確保は必須です。本校では学科の教育課程に沿った実習施設の確保のために毎年の見直しを行っています。また、薬業学科ではインターンシップを組み入れて実施しており、海外研修旅行は冬期休業中に米国の医療施設を訪問する計画を立てています。

(2) 防災に対する体制は整備されているか(3.40)

新校舎移転(平成24年)とともに耐震構造基準を満たし、新たな防災設備の設置や管理体制の組織化を図り、定期的な点検も実施しています。防災教育においては年に一度火災、地震、消火活動等の観点から、防災訓練を実施して教職員や学生へひとり一人の防災意識向上に努めています。

7. 学生の受入募集関係

(1) 学生募集活動は、適性に行われているか。(3.50)

年度始めには学校案内と募集要項を刷新して全道の高校等に配布して説明しています。ホームページ上やSNS等でも公開し、出願方法や各種入試制度を分かりやすく説明しています。また、広報部を通じており学生募集に関する適切な情報を高校等に発信しています。

(2) 高等学校等に対する情報提供の取組がおこなわれているか((3.35))

毎年、高校訪問を計画的組織的に実施して学修の成果や、在校生の状況を報告している。また、志願者が集まるオープンキャンパス、ホームページなどで資格・検定や就職率などはリアルタイムで報告することを確認して実施しています。

8. 財務関係

(1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか(3. 25)

日本私学共済事業団が示しているキャッシュフローの推移を参考指標としているが、帰属収支差額比率はプラスで長年無借金経営を継続する健全中長期の財政基が安定している経営状況となっています。

(2) 財務について会計監査が適正に行われているか(3. 36)

学校法人の会計処理を遵守して監査法人による会計監査を年3回実施するとともに、その後、学園監査も実施しており、収支・予算に関わる財務については適正に執行されています。

9 法令の遵守関係.

(1) 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか(3. 55)

個人情報保護法に基づき、出願者、入学者はもとより教職員の個人情報等に関しても情報管理の一元化や管理体制を学園内で統一して「美専学園 個人情報保護基本方針」を定めて、個人情報の保護に万全を期しています